

第1回例会にあたり

会長 山下 憲男

「ニューノーマルを見据え活気あるクラブに!」

○基本方針

日本ロータリークラブ設立 100 周年の時にニューノーマル(新しいに日常)で一斉にスタートラインに並ぶ変革の年度にあたります。歴史有る当クラブの良さを大切にしながら新たな一歩を踏み出しましょう。



○会長挨拶

2020-21 年度国際ロータリーテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。野生司ガバナーの地区テーマも同様です。ニューノーマルでの親睦、研修、奉仕の各活動と会員増強を視野に入れた公共イメージの向上など地域に密着しながら魅力的で個性有るクラブ作りを目指しましょう。

ロータリークラブも、一旦 100 年前に立ち返ると「ロータリーは結局常識である。拘泥(こうでい:拘る)する所がなく強制する所がない、自由寛容を希求する。ゆえに無邪気を喜び、笑って語るといふのがロータリーの風である」。(米山梅吉「国際ロータリーの精神」昭和 14 年)米山梅吉氏はこのように考えておられたようです。この 1 年が変革の年度として、また 3 年後の 30 周年のスタートの年度として充実したロータリー活動になるよう努めますので、理事、役員、メンバーの皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

幹事 木宮 雅徳

「幹事挨拶とクラブ運営の骨子」

まずは、新年度をリアルな例会で皆さまと迎える事ができたのは、大変喜ばしいことです。

山下会長 基本方針の骨子は、

- ①After コロナ時代の変革に対応する
- ②クラブの現状の理解と会員増強の施策



③新しいクラブのビジョン策定と新しいクラブスタイルの提案

④若手グループの協力の下、IT を活用したお茶の水独自の施策を提案していく

⑤クラブの財務の健全化のための提案

ですが、After コロナ時代いや With コロナ時代でのロータリークラブのあり方は、なかなか困難なことも多く、皆さまと一緒に情報を共有し、考えていかないといけないことが多いかと思えます。

私は、現在ロータリアン歴 4 年目を迎えるひよっこですが、ロータリークラブを辞めていく方の大きな理由は、①他の会員さんと仲良くなれない、②時間がない(本業が忙しい)、③ビジネスメリットが少ないなどが大きな原因かと想像しております。

この辺をまずは解決し、ロータリークラブ活動の魅力をさらにフィーチャーし、若手も頑張るけれども年配者も頑張るといような、「仲が良くて楽しい」クラブにしていけるように頑張りたいと思っております。

千代田区をベースとする当クラブは、ポップカルチャーの街「秋葉原」、ファミリーバザールの「岩本町」、カレエグランプリの「小川町」、楽器の街の「お茶の水」、本の街の「神保町」など歴史的に見ても多くの名所があるエリアです。

昨年表彰された社会奉仕活動の「ウォーキング・プロジェクト」は、そんな歴史ある地元を再認識し、親睦や地域貢献ができるきっかけになる素晴らしい企画だと思えます。

また、他クラブとは大きく異なる当クラブの良さは、年配の方々の若手に対する優しさだと感じております。現在の日本は、世界的に見てもグローバル感覚の欠如、リーダーの欠如、若手の年配者に対するリスペクトのなさ、そして日本人としてのアイデンティティの欠如など大きな問題が山積しております。

高山会員さんにご提案いただいた「千代田から世界に広げよう奉仕の輪」をスローガンにする当クラブとしましては、千代田区の地元の伝統的な日本文化に基づいた、年配の方々と若手が仲良く&楽しく親睦活動・奉仕活動するなかで、ユニークなカラーを築いていければと思っております。

山下年度では、「クラブ財政の健全化」「会員増強」「オンライン化」などを皆さまと一緒に「クラブの現状をシェア」させていただき、様々な問題をスムーズに解決できるようなクラブになっていければと思っております。

まだまだ新人の私で、問題発言も多いかと思えますが、先輩方々からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

創立	1993年10月13日(平成5年)	例会日	水曜日 12:30~13:30
事務局	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2 グランドマンション九段906号	例会場	ホテルグランドパレス 千代田区飯田橋1-1-1 03-3264-1111
TEL	: 03-3288-7300 FAX : 03-3288-7400	会長	: 山下憲男 幹事 : 木宮雅徳
URL	: http://tokyo-orc.jp/	会報委員長	: 佐々木啓策
E-mail	: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp	委員	: 俣野・永井・西村・斉藤・高山・牛島・山田